

139期上半期報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

信越化学工業株式会社

Shin-Etsu

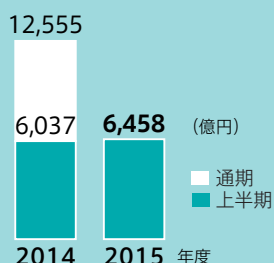
し
ん
え
つ
リ
ポ
ー
ト

Highlight シンエツハイライト

売上高

6,458億円
+7.0%

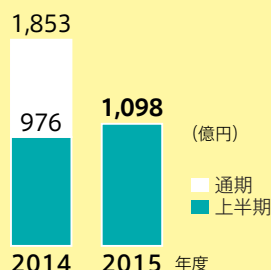
前上半期比421億円増



営業利益

1,098億円
+12.5%

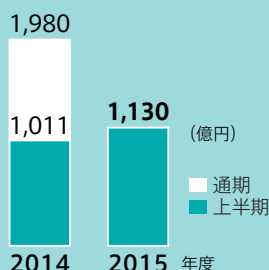
前上半期比122億円増



経常利益

1,130億円
+11.7%

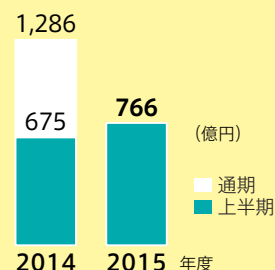
前上半期比119億円増



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

766億円
+13.4%

前上半期比91億円増



海外売上高比率

73.8%

純資産

2兆655億円

総資産2兆4,910億円

自己資本比率

80.8%

ご参考:
自己資本2兆118億円

中間配当金

55円

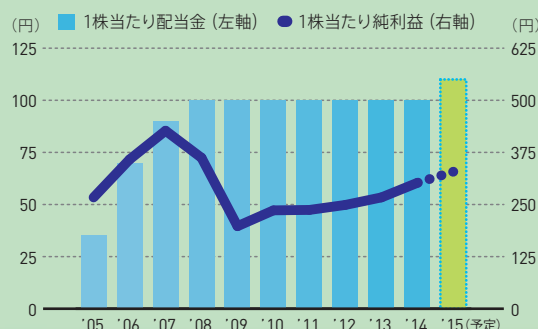
1株当たり年間110円を予定

しんえつニュースクリップ

7年ぶりに年間配当金を増額

当社は、当期の年間配当金を前期より10円増額し、1株当たり110円とする予定です。これまで2008年の世界的な金融危機など、市場環境の変動によって収益が大きく落ち込む状況に際しても、安定した配当を継続してきました。これからも長期的な視点に立って、事業収益の拡大と企業体質の強化に注力し、そうした経営努力の成果を株主の皆さまに適正に還元する配当を安定的かつ継続的に行っていきます。

1株当たり配当金と1株当たり純利益の推移



139期上半期報告書
2015年4月1日～2015年9月30日

株主の皆さまへ

世界の市場を見据えた 積極的な事業展開を通じて 企業価値の向上を図ります。

株主の皆さまにおかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

●当上半期の概況

当上半期（2015年4月1日～9月30日）の世界経済は、米国では景気の回復が続きましたが、欧州ではなお力強さを欠く展開となり、アジア地域などの新興国では減速傾向が見られました。日本経済は、雇用情勢の改善や個人消費に持ち直しの兆しが見られるなど、緩やかな回復基調をたどりました。

このような状況の中で、当社グループは、世界の幅広い顧客への販売や国内外の製造拠点の拡充を進めるとともに、技術、品質の一層の向上に取り組みました。また、特長ある製品の開発や原材料の安定確保に注力し、事業基盤をより一層強化してまいりました。

この結果、連結売上高 6,458億 36百万円（対前期比7.0%増）、連結営業利益 1,098億 16百万円（同 12.5%増）、連結経常利益 1,130億 20百万円（同 11.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 766億 33百万円（同 13.4%増）と増収増益を達成しました。

●主要事業の動向

塩ビ・化成品事業では、米国子会社のシンテック社が、住宅市場に回復が見られた米国内の需要を取り込むとともに、引き続き世界中の顧客への販売を積極的に進め、出荷が堅調に推移しました。半導体シリコン事業は、当上半期の後半にスマートフォン需要の減速に伴う影響を受けましたが、メモリデバイス向け製品が好調に推移するなど、総じて出荷は堅調でした。シリコン事業では、国内の化粧品向けをはじめ幅広い分野で堅調な出荷となりました。また海外でも欧米、東南アジア向けの高機能製品が好調に推移しました。電子・機能材料事業では、希土類磁石がハイブリッド車をはじめ自動車向けで堅調に推移し、フォトレジスト製品は、ArFレジストや多層レジスト材料が底堅く推移しました。また、LED用パッケージ材料、光ファイバー用プリフォームなども順調な出荷が続きました。

●企業価値の拡大に向けた投資

シンテック社では、13回目となる塩ビの増設投資を進めています。さらに、塩ビの主原料のひとつであるエチレンでは、年産50万トンの生産能力をもつ新工場の建設に着手し、塩ビの原料からの一貫生産体制をより強固なものとしています。また、シリコン、希土類磁石、セルロース誘導体、光ファイバー用プリフォームなどでも、それぞれ国内外で、生産能力の増強や新工場の建設を進めています。新



代表取締役会長 金川 千尋



代表取締役社長 森 俊三

しい事業では、最先端フォトマスクブランクスの新工場の建設を福井県で進めています。拡大する需要を確実に捉えるとともに新たな生産拠点を設けることでリスクの分散を図ります。また、フォトレジストでも、台湾に第2の拠点となる工場建設を計画するなど、新たな柱となる事業の育成にも取り組んでいます。現在進行中の生産能力の増強や工場の新設を中心とした設備投資の総額は約 3,200億円で、さらなる成長と企業価値の拡大に向けた投資を積極的に進めています。

●さらなる財務基盤の強化と株主還元

持続的な成長のためには、中長期展望に立ち、かつ市場変化に応じた的確な投資が必要です。研究開発、能力増強、生産性向上、コスト削減、原材料の安定確保、生産拠点の分散化、事業買収やベンチャー投資など様々な投資を適切に実施してまいります。これらの投資は自己資金による迅速な対応が重要であると考えています。そのために、当社グループでは、常に成長に向けた投資を可能にするさらなる財務基盤の強化に注力しています。

当社グループは、これまで世界的な経済環境の変化や自然災害など突発的な外部環境の変動に際しましても、経営努力により事業への影響を最小限度にとどめ、収益を確保して安定配当を継続してまいりました。今後も長期的な観点に立ち、事業収益の拡大と企業体質の強化を重ね、株主の皆さまに適正な利益還元を行ってまいります。こうした方針に基づき、当上半期の配当金は前年同期に比べ5円増配の1株当たり55円とさせていただきます。

●今後の見通しと取り組み

2015年度下半期に関しましては、引き続き米国の景気回復が期待される一方で、中国をはじめとした新興国経済の減速の影響が懸念されるなど、予断を許さない状況にあります。

当社グループでは、世界の市場動向を見据えながら、需要を的確に捉えた営業活動を積極的に展開するとともに、世界の最適地での設備増強などを一段と加速させてまいります。

今後も、たゆみない経営努力と社会への貢献を通じて企業価値を高め、株主の皆さまのご期待にお応えするよう取り組んでまいります。株主の皆さまには、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年 11月

代表取締役会長

代表取締役社長

金川千尋

森俊三

Net Sales/Operating Income by Segment 事業概況

塩ビ・化成品

売上高比率



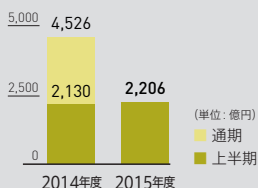
34.2%

- 米国シンテック社は、住宅市場に回復が見られた米国内に加え、世界中の顧客への積極的な販売に努めたことで、出荷は堅調に推移しました。
- オランダのシンエツPVC社は、原料調達先で生じた設備トラブルの影響を受けました。
- 国内事業は、輸出が伸長したものの、住宅関連需要は振るいませんでした。

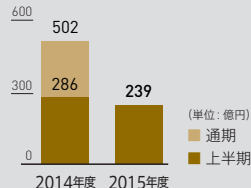
主要製品

塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン

売上高 +3.6%



営業利益 -16.4%



シリコン

売上高比率



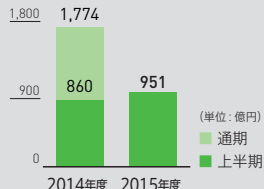
14.7%

- 国内は、自動車、電気、電子向けの一部で鈍化が見られましたが、化粧品向けをはじめ幅広い分野で出荷が堅調でした。
- 海外は、欧米のほか東南アジア向けの高機能製品が好調に推移しました。

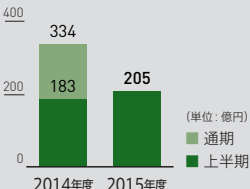
主要製品

シリコン

売上高 +10.5%



営業利益 +12.3%



機能性化学品

売上高比率



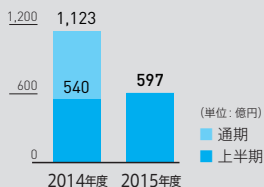
9.3%

- 国内のセルロース誘導体は、建材用製品に回復が見られ、医薬用製品の出荷も堅調でした。
- ドイツのSEタイロース社のセルロース誘導体は、塗料用製品を中心に順調に推移しました。
- 豪州のシムコア社の金属珪素は、市況の上昇もあり好調に推移しました。

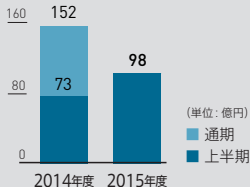
主要製品

セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン

売上高 +10.6%



営業利益 +35.1%



半導体シリコン

売上高比率



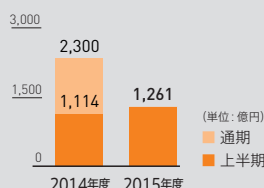
19.5%

- スマートフォン需要の減速に伴うロジックデバイスの在庫調整の影響を上半期後半に受けましたが、メモリデバイス向けが好調に推移したこともあり、出荷は総じて堅調でした。

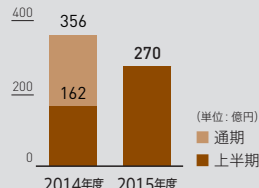
主要製品

半導体シリコン

売上高 +13.2%



営業利益 +66.1%



電子・機能材料

売上高比率



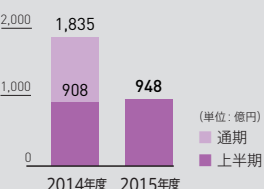
14.7%

- 希土類磁石は、ハイブリッド車をはじめとする自動車向けは堅調に推移しましたが、産業機器向けやエアコン向けが振るいませんでした。
- フォトレジスト製品は、半導体デバイス微細化の進展もあり、ArFレジストや多層レジスト材料が底堅く推移しました。
- LED用パッケージ材料は堅調に推移しました。
- 光ファイバー用プリフォームも好調な出荷が続きました。

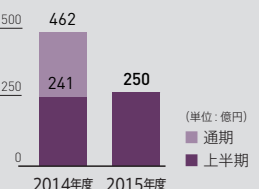
主要製品

希土類磁石、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ベリクル

売上高 +4.4%



営業利益 +3.8%



その他関連

売上高比率



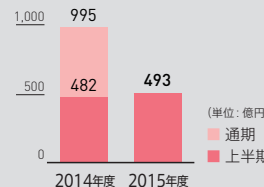
7.6%

- 信越ポリマー社の自動車用入力デバイスや半導体ウエハー関連容器は堅調に推移しました。
- 信越エンジニアリング社のエンジニアリング事業も底堅く推移しました。

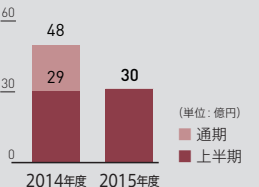
主要製品

樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング

売上高 +2.3%



営業利益 +5.0%



地球環境に
貢献する

信越グループの エコ製品

信越グループは、「遵法に徹し公正な企業活動を行い、素材と技術を通じて、暮らしや産業、社会に貢献する」ことを企業理念として、世界で事業を展開しています。



●塩ビ・化成製品事業●

塩ビ

塩ビは、省エネルギー、環境保護に貢献する素材として注目されています。製造時のエネルギー消費や環境負荷が少なく、耐久性に優れ、リサイクルが容易な樹脂として、幅広く利用されています。その一例が塩ビを使用した樹脂窓です。高い気密性、断熱性、結露防止などに極めて高い効果があるため、住宅の省エネルギー化とCO₂の削減に大きく貢献しています。

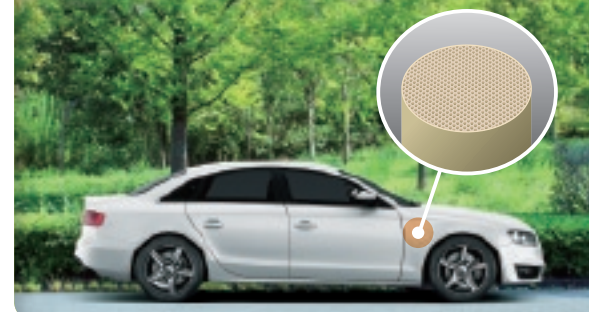


写真提供：
株式会社LIXIL

●機能性化学品事業●

セルロース誘導体

植物を主原料として作られるセルロースは、地球温暖化の防止に貢献しています。自動車の排気ガスをきれいにするため、自動車には排出ガス浄化装置が搭載されています。この排出ガス浄化装置に当社のセルロースが使われています。



●機能性化学品事業●

合成性フェロモン

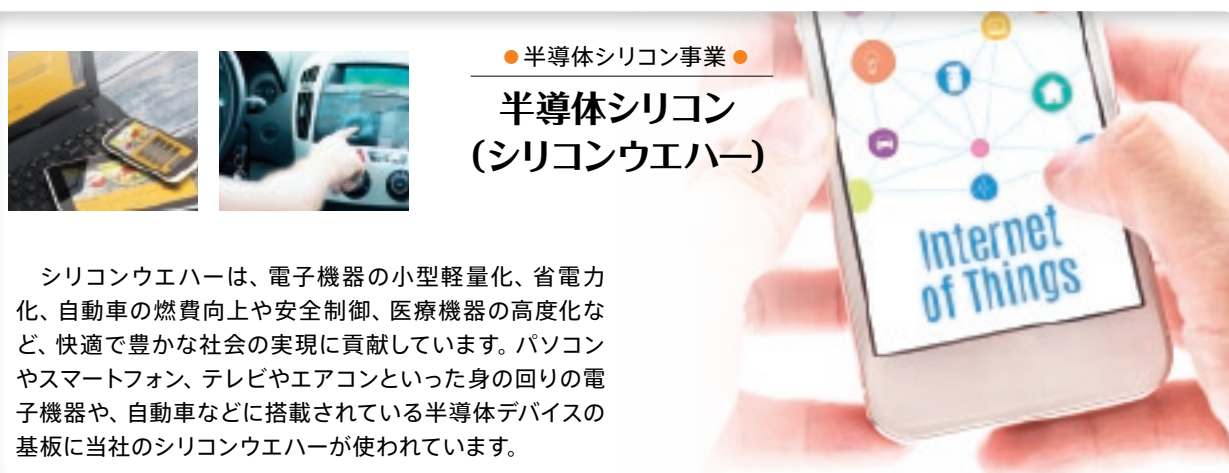
合成性フェロモンは、食の「安全・安心」が求められる時代に適合した害虫防除剤です。昆虫が分泌するフェロモンを人工的に合成し、害虫の交信をかく乱することで次世代の繁殖を抑制します。益虫や他の生態系(生物)への影響がないため、害虫駆除剤に替わる環境への負荷がかからない製品として、果樹、野菜、茶など世界中の農作物の害虫駆除への普及が進んでいます。



●半導体シリコン事業●

半導体シリコン (シリコンウエハー)

シリコンウエハーは、電子機器の小型軽量化、省電力化、自動車の燃費向上や安全制御、医療機器の高度化など、快適で豊かな社会の実現に貢献しています。パソコンやスマートフォン、テレビやエアコンといった身の回りの電子機器や、自動車などに搭載されている半導体デバイスの基板に当社のシリコンウエハーが使われています。



●電子・機能材料事業●

希土類磁石 (レア・アースマグネット)

レア・アースマグネットは、省エネルギーやクリーンエネルギーの普及に貢献しています。フェライト磁石の約10倍という強い磁力により、機器の小型化や軽量化、高出力化を実現しています。この特性を生かし、ハイブリッド自動車や電気自動車を中心としたエコカー、エアコンや産業機器などの各種モータ、風力発電機にも使われています。



●電子・機能材料事業●

LEDパッケージ材料

LEDは、長寿命、省エネルギーなどの特長を持つことから、環境にやさしい製品として一般用照明はもとより、信号機の表示装置、液晶テレビのバックライト、自動車のヘッドライトなどの分野に用途が拡大しています。信越化学はLEDチップを保護する封止材をはじめLEDの周辺で使われる材料を数多く手掛け、LEDの特性を支える役割を果たしています。



●シリコン事業●

シリコーン

シリコーンは、電子・電気機器から自動車、建築、化粧品、食品までありとあらゆる産業で利用されています。例えば、エコタイヤ(省燃費タイヤ)では、燃費性能を向上させ、タイヤの基本性能である短い距離で止まる「グリップ性能」も実現する材料としてシリコーンは使われています。

また、船舶塗料用では、海洋生物の付着防止による燃費向上と海の環境保全に役立っています。



会社概要 (2015年9月30日現在)

商 号：信越化学工業株式会社
設 立：1926年9月16日
資 本 金：119,419,688,785円
本 社：〒100-0004
東京都千代田区大手町
二丁目6番1号
電 話：03 (3246) 5091 (広報部)
U R L：http://www.shinetsu.co.jp/
従業員数：18,352名 (連結)

役 員 (2015年9月30日現在)

代表取締役会長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ* ¹	常勤監査役	岡田 理
代表取締役社長	森 俊三		金子 昌資* ¹		岡本 博明
代表取締役副社長	秋谷 文男		宮崎 毅* ¹	監査役	福井 琢* ²
	斉藤 恭彦		福井 俊彦* ¹		小坂 義人* ²
専務取締役	石原 俊信		小宮山 宏* ¹		永野 紀吉* ²
常務取締役	幅田 紀一		宮島 正紀		
	高杉 晃司		笠原 俊幸		
	轟 正彦		小根澤 英徳		
	秋本 俊哉		丸山 和政		
	荒井 文男		池上 健司		
	松井 幸博		塩原 利夫		
	上野 進				

*¹ 社外取締役
*² 社外監査役

株式の状況 (2015年9月30日現在)

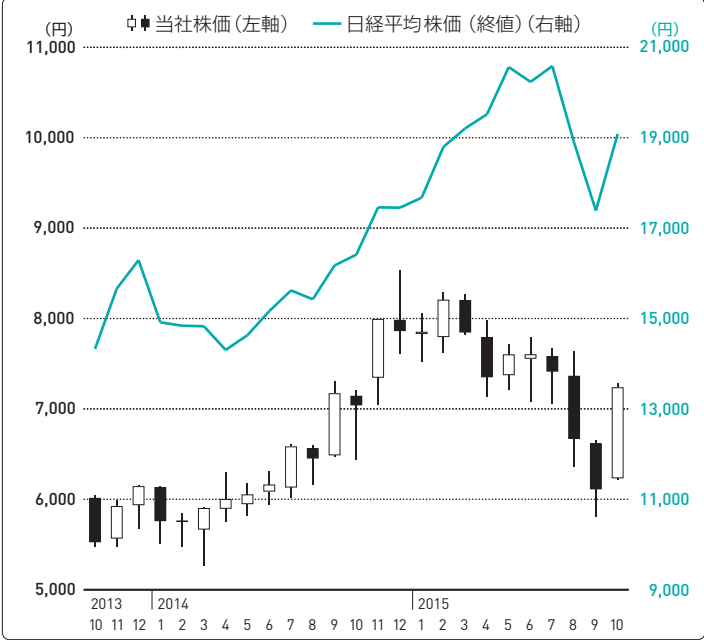
発行する株式の総数：1,720,000,000 株
発行済株式総数：432,106,693 株
(注) 自己株式6,193,722株が含まれております。
株主の総数：52,072 名

大株主 (千株未満は切捨表示)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	39,597	9.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	29,248	6.9
日本生命保険相互会社	21,933	5.1
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	11,621	2.7
明治安田生命保険相互会社	10,687	2.5
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	6,776	1.6
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	6,229	1.5
GIC PRIVATE LIMITED	5,686	1.3
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	5,357	1.3

(注) 当社は、自己株式6,193,722株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度：4月1日～翌年3月31日
期末配当受領株主確定日：3月31日
中間配当受領株主確定日：9月30日
定 時 株 主 総 会：毎年6月
公 告 掲 載 方 法：電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
(http://www.shinetsu.co.jp/)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単 元 株 式 数：100株
上 場 証 券 取 引 所：東京・名古屋
株 主 名 簿 管 理 人：三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 の 管 理 機 関
同 連 絡 先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
証券会社等の口座に記録された株式	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください
特別口座に記録された株式	
特別口座から一般口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取・買増請求	
住所、氏名などのご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

